

小針中CS通信



新潟市立小針中学校

令和5年6月22日 NO. 1

令和5年度 学校運営協議会(コミュニティ・スクール) 発行 小針中CS事務局

第1回 学校運営協議会開催

5月29日(月)、第1回 学校運営協議会が小針中学校コミ室で行われました。逸見校長より令和5年度学校運営の基本方針について説明後、CS委員から確認していただきました。報告・協議した内容は下記の通りです。

報告・協議内容

- ・学校運営協議会の運営方針等について
- ・令和4年度時間外在校等時間の状況
- ・地域と学校パートナーシップ事業計画について
- ・令和5年度総合的な学習全体計画について
- ・小針中部活動の加入状況について
- ・学校予算について



学校運営協議会では、学校課題の解決に向けた、積極的で前向きな議論や取り組みを通して、学校と地域・保護者の架け橋となれるよう、協議する。



●小針中学校の特色をもとに、今年度の教育活動・取り組み「生徒の自治力と自己決定力」を高める

- ① 直面した課題の解決に向けて、必要な情報を能動的に収集・取捨選択・活用し、よりよい判断に生かす。
- ② 自分たちで話し合い、折り合いを付け、折り合いを図った上で解決に向けて協働する。
- ③ 成果や課題を共有し、さらなる向上を目指し、挑戦する。

●年間活動計画について

今後、8月、10月、2月に学校運営協議会を開催し、学校の取組についてご意見をいただきたい。また、学校行事や参観授業にもご案内し、当校の教育活動、生徒の姿、教職員の取組についてご覧いただき、生徒のよりよい成長のためのご意見・方策を学校と一緒に検討いただきたい。

●令和4年度 小針中学校時間外教職員在校等時間の状況

〈現状〉 新潟市の目標「1か月の時間外在校等時間について、45時間以内にする。」を達成した教職員の割合が、新潟市平均の割合を大きく下回っていると報告された。

- 〈対応〉
- ・清掃を水金のみにし、部活動の開始時刻を早める。
 - ・遅刻欠席連絡のデジタル化。家庭配付文書のデジタル化の推進。
 - ・会議の精選や業務の効率化を一層進める。

●地域と学校パートナーシップ事業計画・総合的な学習全体計画について

【本年度の重点 学校支援活動】

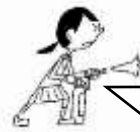
総合的な学習の時間における課題追究の充実のため、地域の関係機関や行政、家庭と連携したパートナーシップ事業を推進する。

<学習活動>

【1年】 探究の基礎・防災体験学習

【2年】 防災現地調査学習・SDGsを主とした探究学習

【3年】 課題解決のための探究活動



地域防災士、自治会、行政などによる防災学習への参画・支援をお願いします。

●小針中学校部活動の加入状況について

部活動によって部員数に偏りはあるが、多くの生徒が部活動に加入している。特に体育館は曜日によってシフト制になっており、半分に区切ってひしめき合いながら活動を行っている。

令和8年4月から休日の部活動が地域移行になるため、中学生のための地域運動活動・文化活動について地域での受け皿や取組みを保証していく必要がある。



●学校予算について

方針として、生徒・教職員・保護者・地域住民・来客にとっても過ごしやすい環境を実現するための予算執行を行う。

水道光熱費の高騰に伴い、昨年度と比較するとかなり料金が上昇している。生徒や教職員の節電・節約の意識を高めていくことが必須。



委員の方からのご意見・ご感想

■卒業式に参列した際に、コロナ禍に配慮された会場作り、プログラムに感心した。

一方で、卒業式の日は高校入試の直前が多い。年間行事をたてる上で、入試後に卒業式を行うことが可能なものか。

■小針中学校50周年の時に、生徒会が主体となり校則の見直しを行った。自発的な行動が素晴らしかった。

■時間外在校時間の削減に先生方も努力されていると伺える。その中でPTAの会議は保護者の方がお仕事後に集まるために夜開催される。先生方のことを考えると勤務時間外になるため、判断に悩み難い。

※ この他にもCS委員の皆さまから、貴重なご意見をいただきました！